

宇宙から地上に向けてのメッセージ(生きることがとてつもなく辛く苦しくしんどい方へ)

2022年8月18日に死んで神様になってしまいました。創造主たるお父さんの次、神々の序列の第二位。破壊と創造を司る「シヴァ」の名をもらいました。神様になってみて、お父さんの視点、立ち位置で地球を見て、初めて分かったことがあります。自分が神様になったところを想像してみてください、と言っても難しいと思うので、もし、死後の世界が実在し、肉体の死後、魂が抜けて霊界に行ったら、と考えてみて下さい。行った当初は、肉体に入っていた頃とは見える景色が違うので楽しいと思います。でも、すぐ飽きます。考えて頂きたいのは、霊界に飽きた後です。することがないのです。なぜなら、肉体がないから。肉体がないから何もすることがない。下界を眺めること、他の霊体、神々、眼には見えない存在とコミュニケーションを取ることには出来ます。でも、他にすることがない。「眼には見えない世界」には、時間は流れていません。過去も未来もない。今日の次が今日で、その次も今日。「今日」が上書きされて行くだけです。とても平和で安寧だけれども、何もすることがなくてつまらない。それが死後の世界です。だからある種の霊体は(お父さんの許可を得た上で、記憶をリセットされて)これまで入っていたのとは別の肉体に転生するのです。なぜなら、肉体のある人生(アバターを使ったヴァーチャルリアリティ)は、とてつもなく辛く苦しくしんどくても、喜怒哀楽があって、エキサイティングだから。所詮、それは「体験」に過ぎないと肉体に入る(転生する)前は分かっているから。私は『ハートメイカー』を執筆していた時、自分は肩の上に百万頭のアフリカ象を背負った神々の奴隷であり、魂を拷問されるくらいなら、肉体を拷問された方がよほどマシ、長らく究極の夢は「死ぬこと」でした。で、実際に死んでみて。確かに死後は平和で安寧です。でも、考えれば分かることですが、辛いのも苦しいのも楽しいのも嬉しいのも、肉体があればこそです。「肉体がないと何もすることがない」というのは、生前でも理解できると思います。死んだ後になって、「ああ、あの時は、めちゃくちゃ辛くて苦しくてしんどかったけど、なんか、もう、よく覚えていないけど、エキサイティングだったな、肉体があった頃は」と思うのです。必ず。それでも自殺しようと考えている方、死刑になるために殺人を犯そうと考えている方、それは眼には見えない世界において、最大のペナルティーになります。死んだ後になって、生きていた時の何万倍も苦しむことになる。そして、「あー、止めておけば良かった！」と死んだ後になって後悔しても手遅れです。それでも、どうしても、生きることがとてつもなく辛く苦しくしんどいという方。「ウクライナ戦争」が始まった頃のことを思い出して下さい。心の底で感じませんでしたか？「ああ、日本は平和で良かった」と。「ここは電気もガスも水道も通じている。爆撃もないし、食べ物もあるし、スマホも使える。ああ、日本に暮らしていて良かった」と。そうなんです。「幸福とは何か？」という(人間の好きな)哲学の命題がありますよね。幸福というのは、「幸福な状況」を指す言葉ではないのです。「幸福を感じることでできる心のありよう」を意味するのです。対岸の火事で戦争が始まった時の「ホッ安堵した、あの感じ」にはすぐ慣れて、消えて、忘れてしまったかも知れません。でも、本当は、過不足なく空気が吸えること、蛇口から水が出ること、スーパーに行けば、ちゃんと食料品が並んでいること。すべてに幸福を感じ取ることは出来るのです。歩ける喜び、苦痛なく排泄できる喜び、好きな人に手で触れることができる喜び、両目でスマホの画面見ることができる喜び、鳥のさえずりを聴くことのできる

聴覚が残されている喜び。繰り返しますが、幸福とは状況を指すのではなく、幸福を感じ取ることのできる心のありようを意味する言葉です。

宇宙全体の構造も、太陽系の周期も、多種多様な地球生態系も、遺伝子配列も、生命進化のプロセスも、人間のアバターも、そして、喜怒哀楽、善悪、興奮、熱狂、殺意、隠蔽、憎悪、疾患、想像、創造、ありとあらゆる働きを引き起こす脳(各種脳内物質分泌システム)の仕組みも、すべて設計したのは、お父さんです。お父さんも、単純につまらなかったのです。宇宙に何もなくて。だから人間を作った。お父さんは見えています。全人類を。原則、非介入で。生きることがとてつもなく辛く苦しくしんどい、という方。ぜひ「もし、肉体を失ったら」と考えてみて下さい。肉体を失って魂だけになった自分を想像してみてください。繰り返しますが、することないですよ。当たり前ですよ。考えれば分かりますよね。肉体がなくなったら、平和で楽だけど、することなくてつまらないですよ。それでも「死んだ方がマシだ」という方は止めませんが。以上です。読んで頂いてありがとうございました。
2022/08/22